

顔晴る=かっこいい!

丹南中学校2年学年通信 No.7
平成29年6月29日

～一步踏み出す勇氣・
それを応援する気持ち～



文責：木村 匡宏

総体、吹奏楽コンクールの季節が始まります！顔晴れ丹中生！

いよいよ暑い夏が目の前に迫ってきました。夏休みまであと少し！でもその前に、6月30日より多くの部活動で総合体育大会が始まります。月曜日（26日）には、総体、さらに吹奏楽部にとっての大きな目標である、吹奏楽コンクールに向けての決意表明をする壮行会が行われました！テストに追われた先週から一転、暑くて、熱い！そんな時期がやってきましたね。

陸上部は一足早く、市の総体を終え、丹有に向けてがんばっています！外部のクラブ活動で野球やサッカーをしているみなさんも、いろんな大会があったようです。（それも大切な丹中2年生の顔晴り！応援しています！）放課後の吹奏楽部に練習の音色も、一段と活気を感じるようになった気がします。

そして2度目の総体を迎えるみなさん。昨年とは違った立場で迎える総体ですね。昨年はよくわからないまま、終わってしまった人もいたかもしれません。2年目の今年は、試合に出る人も多いでしょう。身近な先輩の最後の試合をともに迎えることもあります。入部してあっという間にやってきた昨年の総体と違い、1年間やってきたことの総仕上げ。そして確実にやってくる先輩の引退・・・先輩のためだけでなく、これから丹中を引っ張っていく2年生にとっても熱く、大切な夏になりますね・・・

忘れることができない最後の敬遠・・・

私も教師として、監督として毎年総体を迎えています。毎年、毎年いろんなことが今でも心に残っています。うれしかったこと、今でも後悔していること、ケガをした生徒を最後に出してやれなかったこと・・・。いろんなエピソードがありました。でもあの年の総体、あの敬遠・・・。おそらくそれはこれからも忘れないでしょう・・・。それは7年前。丹南中学校に転勤して初めて迎えた丹有総体のことです。（この話は学級通信などでこれまでも何回も紹介したことがあります）

その前にさらに2年さかのぼり、私は篠山中学校でソフトボール部の顧問をしていました。そのとき入部してきたのがAさんでした。Aさんは体が先輩より大きく、期待の選手でした。しかし最初はなかなかソフトボールのコツをつかめませんでした。ボールはほとんどバットに当たらず。ノックをしてもフライもゴロもともに捕れたことはありません。それどころか頭にボールがゴツンってことも・・・。最初のスタートはそんな感じでした。それから1年後、2年生になったAさんは夏の総体をスコアラーとして迎えました。スコアラーの仕事はスコアをつけることです。そして私が与えたもう1つの仕事は、一塁や二塁に相手のランナーが出ると、じっくりそれを見て、盗塁すると誰よりも大きな声で「走ったー！」「プレーヤーに伝達すること。同級生の他のメンバーは先輩とともにレギュラーとして試合に出ています。しかしAさんはその裏方の仕事をいつもコツコツとこなしてくれていました。

そして先輩が引退し、自分たちが最上級生となる最後の1年が始まりました。私は彼女に4番バッターになってほしいと期待しました。体が大きく、ボールを遠くへ飛ばせるパワーがあったから。実際特大のホームランを打つこともよくありました。でもちょっと緊張しいでもありました。上位の同級生が打って、チャンス！でもガチガチになって力が出せず三振・・・。そのたびに「4番バッターではない。ただ4番目に打っているだけや！」と厳しい話もしました。4番をはずすこともしばしば。悔しい思いもしたはずですが。素振りもよくしていました。でもなかなか活躍できないまま、2年生の冬の県大会でもチャンスで打てずに負けました・・・。

3年生の春、最後の総体へあと少し。でも私は丹南中学校に転勤しました。そしてソフト部の顧問となり、最後の総体はAさんと敵同士として迎えました。篠山中と丹南中は毎年、激戦を繰り広げていました。そして迎えた丹有大会の準決勝。勝った方が県大会へ行けることになりました。

試合は丹南中が優位に進めました。Aさんも4番を務めがんばっていましたが、試合はたしか4-1くらい？で丹南リードで最終回を迎えました。詳しい内容は全く覚えていません！でも試合もすでに2アウト。丹南の圧倒的優位です。私も正直「勝ったな」と思っていました。しかし、そこから篠山の猛

反撃を受けます。強烈な篠山打線にヒットを続けられ、気がつけばあっという間に4-4の同点に。盛り上がる篠山側と、シーンとなる丹南ベンチ・・・。試合は完全に相手ペースになっていました。さらに2アウト三塁、ヒットが出れば逆転サヨナラで負ける場面です。そこで篠山は4番のAさんに回りました・・・。最終回、ここでヒットが出れば篠山がサヨナラ勝ちを収め、丹南の3年生は引退となります。

ソフトボールや野球には“敬遠”という作戦があります。知っているでしょうか？敬遠とはよく打つバッターにわざとファールボールを与える作戦です。このときとるべき作戦は相手の4番に打たせないということです。「ここは敬遠でしょ」という雰囲気が出た試合会場には漂っていました。県大会か引退か？ここは敬遠が当然の作戦のはずです。でも、私はそのとき、それをしたくないと思いました。「勝負して、打たれたらしゃあない」と思いが沸き起こっていました。何でそう思ったのかはよくわかりません。私が丹南に行って3か月、Aさんが本当の4番になったのか、いやまだ4番目のバッターなのか・・・。ちょっと試してみたかったのかもしれませんが。そして丹南のピッチャー、キャッチャーに私が敬遠ではなく勝負するように指示しようとしたそのとき・・・。Aさんがゆっくり、堂々と丹南のピッチャーをにらみながら打席に入るのが見えました。まさに4番！強打者の風格でした。その姿を見たとき私は直感的に「勝負すればやられる・・・！」と。次の瞬間私の左手は“敬遠”を指示するサインを出していました・・・。そう、本当に無意識のうちに勝負を避けていました・・・。

結果は敬遠→次のバッターを抑えて延長戦→丹南が延長で1点をとり5-4で勝利、となりました。喜ぶ丹南の選手、そして篠山の3年生は泣き崩れていました・・・。試合直後、Aさんが涙を見せながら私のところに来て握手をしました。「ありがとうございました」だけでしたが、私には「試合には負けましたが、先生との勝負には勝ちましたよ」と言われた気がしました。涙の中にもやりきった充実感があったから。ほとんどバットに当たらない1年生のとき。裏方を続けて先輩を支えた2度目の総体。そして4番のプレッシャーを乗り越えた私が知らない3年生最後の3か月。最後は“本当の4番バッター”になっていました。努力もたくさんたくさんしたはずですが。“結果”ではなく、部活をがんばってきたという“過程”が大切。この出来事で本当にそう学んだ気がします。

なぜ勝負しようと思ったのに、敬遠したのか？本当に無意識で、実はよくわかりません。作戦として当然のことです。でもAさんの最後の打席は、バットすら振らせてもらえなかったんですね・・・。そのことはずっと心にひっかかっています。

今年の総体でもいろんな部活で、いろんなドラマがあるはずですが。そして先輩たちの涙もみるはずですが。それを見たとき、みなさんは何を感じるでしょうか？昨年とはまた違う思いをするはずですが。

部活やスポーツで学ぶこと。それは技術と精神力。やりきろうとする先輩がいたら、そこからいろんなことを感じてほしいです。結果だけではなく、やりきったという思いを知ってほしいです。そしてその

のバトンを引き継いでください。 **心1つに、顔晴れ丹中2年生！**

保護者のみなさまへ

1学期も残すところあと20日になりました。7月は個人懇談があります。1学期のがんばり、学習へのアドバイスなど短い時間ですが、有意義な時間になればと考えています。また初日（6日）はトライやる・ウィーク活動報告会を催します。お忙しい中ですが、よろしく願いいたします。夏休み中も様々な行事でお世話になります。

7月の予定（夏休みまで）

- 7月1日（土） 篠山市総合体育大会
- 7月6日（木）～11日（火）1学期懇談
6日（木）トライやる活動報告会
- 7月12日（月）1学期校内研究授業（5時間授業）
- 6月10日（土）丹有地区陸上記録会（三木）
- 7月15日（土）16日（日）丹有総合体育大会
- 7月19日（水）給食最終日、校外生徒会
- 7月20日（木）1学期終業式
篠山市総合体育大会
- 7月22日（土）吹奏楽交歓会（田園交響H）

